



取締役頭取

金城 棟啓

GREETING ごあいさつ

皆様には、平素より琉球銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

多くの皆さまに琉球銀行をより一層理解していただくために、「琉球銀行の現状」（2015年度中間ディスクロージャー誌）を作成しました。

平成27年度上半期の国内経済は、全体としては緩やかな回復基調が続きましたが、個人消費では消費者マインドの持ち直しに足踏みがみられ、輸出もアジア向けを中心に弱含むなど、一部に鈍い動きがみられました。

沖縄県経済は、個人消費が労働・賃金環境の改善から好調となり、観光は外国人観光客の大幅な増勢が続き、建設も住宅建設等が高水準を維持したことから、引き続き拡大の動きが強まりました。

このような中、当行は「グループ総合力の発揮による顧客提供価値の確立」を経営目標とする中期経営計画「Shared Value 2015」をスタートさせました。中計初年度である今年度は、お客様の利便性向上のためITインフラを拡充したほか、成長分野への取組強化による法人取引の拡大、お客様のライフプランに合わせたコンサルティング機能の充実等による個人取引の強化などに取り組みました。

当行はこれからも、コンプライアンス（法令等遵守）を磐石にする企業風土の醸成により各ステークホルダーからのゆるぎない信頼を獲得するとともに、強みであるIT・人材基盤・営業態勢をさらに進化させ、グループ総合力を発揮することでお客様に3つの価値「Speed（スピード）」「Solution（問題解決力）」「Sympathy（共感力）」を提供し、お客様から選ばれ、地域から圧倒的な支持をいただけるりゅうぎんグループを目指してまいります。

平成28年1月